



にしき園だより



にしき園全景 令和2年4月撮影

個人情報保護に対する基本方針

串本福祉会は、本法人が扱う個人情報の重要性を認識し、その適切な保護のために、自主的なルール及び体制を確立し、個人情報保護に関する法令その他の関係法令及び厚生労働省のガイドラインを遵守し、利用者及び介護者（家族等）の保護を図ることを宣言致します。

基本理念

串本福祉会は高齢者の尊厳ある生活の維持及びご家族や地域住民の福祉の向上を目指します

活動に際し次の三点を職員の行動規範とします

一、利用者、関係者に解り易く説明します

二、笑顔で心を込めた処遇に努めます

三、良識に基づいた処遇に努めます



令和2年3月完成 にしき園本館

特別養護老人ホームにしき園 本館改築工事竣工

社会福祉法人串本福祉会

理事長 和田利文

このたび特別養護老人ホームにしき園本館の解体・新築工事が無事に終了しましたことをご報告させていただきます。令和2年3月4日、竣工式を行いました。新型コロナウイルスの感染予防のため、当初予定していた来賓をお招きしての式典は取り止めで、関係者のみ参加していただく形となりました。

当計画を立ち上げてから早や2年、無事こうして竣工できましたのは和歌山県からの温かいご指導とご支援の賜物と関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。工事期間中、入所者の皆様には騒音や共同スペースの縮小等で随分ご迷惑

をおかけし、面会に来られたご家族様にもご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

地域住民の皆様には工事車両の往来等、ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。建築設計をご担当いただいた辻岡直樹建築設計事務所株式会社様、また施工をご担当いただいた株式会社小森組様には、高い専門性と優れた技術で旧本館の取り壊しから新本館完成まで諸般の困難を克服し法的な基準と工事の安全を確保しながら地域に誇りうる施設としてこの工事を見事に完成していただきました。ご両社及び関連業者各位に対し深甚の謝意を表します。



このたびのにしき園本館建築は、災害に強い施設を目指し、入居者の皆さんや職員が安全に安心して過ごせるようにとの願いが込められております。災害時には、地域住民の避難場所としても貢献できればと思っております。また、50床ある従来型の特養の居室は全室木製の仕切りと扉を設けプライバシーの保護に配慮した造りになっているのが大きな特徴であります。さらに、1階には広い地域交流ホールを設けておりますので、今まで以上に積極的に地域との交流をすすめてまいりたいのと同時に、このスペースを地域の方々にもご利用いただけたら嬉しく思います。

本法人は今年で設立34年になります。開設当初は50床の特別養護老人ホームのみで職員23名からのスタートでした。その後、ショートステイ、デイサービス、訪問介護、認知症対応型グループホーム、小規模多機能型事業所、地域密着型特養、有料老人ホーム、さらに特養の増床と、地域のニーズに沿った様々な老人介護事業を拡げてまいりました。この間、多くの関係者の皆様、職員諸氏のご尽力があつて今日を迎えられたものと、感謝の念に絶えません。

今後の日本社会はますます高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者となる2025年



広くて明るい共同スペース

には、介護職員が約37万人不足すると言われ、介護にたずさわる人材の確保が急務となっております。働きがいのある魅力ある職場作りに取り組み、高齢者やその家族、地域住民からも選ばれる施設と



建具で仕切られ準個室になった4人部屋

して、安心して暮らせる町づくりの一端を担う覚悟で今後も地域に貢献して参りたい所存でございます。最後になりましたが、建築設計、施工各社の益々のご発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。御礼がたご挨拶と致します。時節過ぎしくください。

新型コロナウイルス感染症対策における 面会中止のお願い

新型コロナウイルスの全国的な流行を受け、本法人では2月14日よりご家族様等の面会を中止させていただいております。感染者の拡大が続く中、引き続きご面会の中止を継続させていただきます。皆様にはご心配をおかけしますが、ご利用者様の安全を第一に考え、万全の態勢で対応してまいります。ご不明な点がございましたら、各施設までお問合せください。なお、面会中止の解除については、またお知らせいたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

令和2年4月1日

特別養護老人ホームにしき園
上野山にしき園
潮岬あゆみ園
ほっとハウスうわの園
二色あゆみ園
在宅福祉総合センターにしき園

串本福祉会入社式

4月1日、令和2年度串本福祉会入社式がありました。今年の入社式は新装なった本館の交流ホールで行われましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が心配されている中、座席の間隔を1メートル以上離すなどの対策がとられました。



はじめに理事長から串本福祉会の理念について話があり、特に笑顔の大切さということが強調されました。一人ひとりに辞令が交付されたあと、新入社員を代表して宮下清流さんから介護の仕事に就くことについての抱負と決意が述べられました。初々しさの中にも新人とは思えない落ち着いた話ぶりで会場からも大きな拍手が起きました。最後の施設長の挨拶ではにしき園の社是『一灯照隅』についての話がありました。突然部屋の電気が消され、新入社員5人（内、新卒4名）にランタンが配られました。



「順番に明かりをつけていってください。」と指示があり5人のランタンすべてに明かりが灯ると、「みんなの明かりが集まればこんなに明るくなります。」と施設長の言葉。一人ひとりが自分の役割を確実に果たしていけば、組織全体として大きな力が生まれるということを伝えるためのパフォーマンスでした。年間を通じて中途採用で入職される方は数名いますが、年度ははじめに5名の新人が入社してくれることは例がなく、希望に満ちた令和2年度のスタートとなりました。



平成30年7月末で久保次長が退任し、新しく永石次長が着任しました。本法人の人事および苦情受付、また施設の相談員などを担当してくれています。

「あこぎ」

次長 永石 和

にしき園にきてまもなく2年になろうとしています。初めての介護福祉の世界で右往左往しながらやってきたというのが実感です。もとより微力ではありますが、多少なりとも串本福祉会の発展に貢献できればと思います。よろしくお願いします。

さて、最近印象に残ったにしき園のトピックについて書きます。

まずはにしき園新本館の完成です。本館の改築は、一義的には地震による津波被害から利用者や職員を守るということですが、近いうちに地震が起ころうかもしれないという確率的な話の中で、人命尊重を第一に考え、建築を決断した法人の姿勢に敬意を表したいと思います。先日、利用者様も引越しを終え、新しい居室での生活が始まりました。が、新本館に入ってみて最初に感じるのは、広々とした食堂や、プライバシーにも配慮された居室など、これまでとは大きく違う快適な生活空間がそこにあるということです。ケアと呼ばれる、それぞれの人

が、それぞれに望んでいる暮らしをサポートする個別ケアを目指しているという動きがあります。が、今回素晴らしい環境が整ったにしき園の従来型フロアにおいてもユニットケアを進めていこうという取組が始まっています。試行錯誤を繰り返しながらも、少しでもそこに近づけていきたいという思いで奮闘している職員の皆さんの熱意に期待したいと思います。

二つ目は今年度法人に4人の新卒職員が入社したことです。全国的に介護職員の不足が言われる中、初めて社会人としてスタートする4人の若者が、将来の職業として介護を選び、しかもその職場が地元のにしき園であるということとは大変うれしいことです。法人では昨年度より串本古座高校と連携をし、高校生に介護職員初任者研修の資格を取得してもらったための講座を開いています。園の職員が学校や施設で行う年間130時間の講義や実習を受講すれば介護の基礎資格を取得することができ、ますます新卒社員の4名のうち3名がこの講座の受講生であつたことをみる



と取組の成果が現れたといえます。新年度においてもこの取組は継続して行っていく予定です。ですが、地元で介護職をめざす若者が増えていく契機になればと思います。

介護は歴史の浅い職種です。介護保険制度ができてからでも20年しかたっていないせん。そんな中でまだまだ理解が進まず、この仕事に対する様々な偏見なども依然としてあるわけですが、確実に言えることは様々な面で介護の世界は変化してきているということです。最近行われたある調査によると介護の仕事をする人がこの仕事を選んだ理由として一番多かったのは「働きがいのある仕事だから」というものでした。人生100年と言われるこれからの世の中で、介護は社会的にみても値打ちのある働きがいのある仕事です。そういう思いに共感し、志を持って今年にしき園に入社してくれた若い彼らが着実に成長して、地域の介護福祉を支えていく人材になれるようにサポートしていくことが法人全体の責務であると痛感しています。



敬老会

9月19日、にしき園新館交流ホールにて、『第33回にしき園敬老会』が開催されました。はじめに最年長の102歳のお二人、河田よし子様と南地ひでの様に串本町役場福祉課の高岡副課長から敬老祝金を手渡され、御祝いの言葉を頂きました。にしき園施設長からは花束が贈られました。お二人ともたいへんお元気でインタビューにもしっかりと答えられました。

式典のあとは、職員による趣向を凝らした歌や踊り、楽しい劇などの余興が繰り広げられ、最後にデイサービスの高岡職員のギターに合わせて全員で「上を向いて歩こう」と「ふるさと」を歌いました。

ご利用者様に感想を伺うと口々に「楽しかったよ」「面白かったねえ」「すばらしかったわ」と言ってくれました。みなさんの笑顔が見たくて職員一同、衣装や小道具にもこだわり、練習もがんばりました！次回は新しいホールでの開催となります。

どうぞお楽しみ♪



にしき園お達者クラブ

にしき園では、ご利用者様が、生き生きと毎日を過ごしていただけのような「お達者クラブ」を定期的に行っています。この日は10月というこ

とで、「運動会」でした。「お達者クラブ」の際には毎回更生保護女性会の皆さんがボランティア参加してくださいます。今回も3名の方がお手伝いしてくださりました。

運動会の歌、ラジオ体操の後は定番の「紅白玉入れ」です。職員がかごを背負って移動し、その動くかご目掛けて玉を入れます。最後はご利用者様も職員も大盛り上がり。あつという間の1時間でした。翌日ご利用者様から「楽しかった。昨夜はぐっすり眠れたよ」とうれしい声を聞くことができました。



スイーツポテト作り

「錦富さわやかクラブ」の皆さんも来てくれて、みんな楽しいひと時を過ごしました。つきたての芋もちはやわらかくておいしいと好評でした。

も行ったおり、他のフロアの入所者さんと交流できてみなさんの日を楽しみにされています。

餅つき大会

10月24日、第33回創立記念餅つき大会がありました。あいにくの雨で今回は交流ホール内で行うことになりました。

室内での餅つきは天井や壁に餅の破片が飛び散って悲惨なことになるので、まわりにビニールを張り回して養生をし、振り上げる杵も少々控えめにしました。



潮岬あゆみ園

地域との交流やご家族様との面会もなかなかできない閉塞感のなかですが、少しでも皆様に楽しいひと時を送っていただけるよう、すき焼きパーティーを行いました。これは、自分たちで作るといった目的もあります。牛肉、鶏肉、しいたけ、豆腐に各種野菜。本格すき焼きに皆さん大喜び。どうやらお味にはご納得頂けたようで、一安心。これからもこのような取り組みをしてまいります。



上野山にしき園



海中公園の入り口で記念撮影

7月17日、上野山にしき園の入居者様3名が職員付き添いのものと、串本海中公園へ出かけられました。最初に大きな水槽で泳ぐ魚を見て「まあ、大っきいね〜」と驚かれた様子。子ガメとのご対面ではちよつと手がすくんでしまいました。エサやりでは「届かんよ〜」と笑いながらも一生懸命にえさを投げ、近づいてくるカメラをニコニコとご覧になっていました。後半は少しお疲れ気味でしたが、とても楽しんで頂いた様子でした。ご協力いただいた串本海中公園さま、ありがとうございます！



園児との交流

上野山にしき園は、すぐお隣に上野山こども園さんがあり、元気いっぱい園児たちと日常的にふれあえる良い環境にあります。お散歩の途中にときどき寄つてくれるのを入居者の皆さんは心待ちにされていて、0歳児が乗った乳母車がやってくるのと、皆さんいとおしそうにのぞきこまれます。



運動会や発表会などに招待してくれたり、施設の敬老会で歌や詩の朗読を披露してくれたりもします。こどもたちからたくさん心の栄養をいただいています。



一色あゆみ園

11月9日、一色あゆみ園で干し柿作りました。この日は「介護職員初任者研修」の演習でにしき園を訪れていた高校生も来てくれて、にぎやかな干し柿づくりになりました。入居者の方々は慣れた手つきでスイスイ皮むきをされていました。細かい作業は高校生がさつと手を差し伸べてくれて、とても楽しい素敵な時間を過ごせました。美味しい干し柿になりますように。



テイスタービズ菜園

デイスタービズでは、園庭の菜園でいろいろな野菜を育てています。11月には大根とかぶらを植えました。3週間たった頃、間引き菜をおひたしにしてみなさんで食べられました。そして、2月に入つて収穫の時期を迎え、ご利用者様がお漬物を作ってくれました。水洗いして皮をむいて食べやすい大きさに切つて、お酢、砂糖、ゆかりなどを入



れてピンク色のきれいな漬物になりました。昨年は、楽しみにしていたスイカがカラーストサルに横取りされてしまいました。今年はどうな作戦で野菜を守りましょうか？





社会福祉法人
串本福祉会

○介護老人福祉施設

特別養護老人ホームにしき園

〒649-3512 和歌山県東牟婁郡串本町二色160
電話 0735 (62) 5165
FAX 0735 (62) 5338



○地域密着型特別養護老人ホーム
上野山にしき園

〒649-4113 和歌山県東牟婁郡串本町津荷29-2
電話 0735 (72) 6066
FAX 0735 (67) 7880



○在宅福祉総合センターにしき園
(通所・短期・訪問介護・居宅介護支援)

〒649-3512 和歌山県東牟婁郡串本町二色165
電話 0735 (62) 6922
FAX 0735 (62) 6923



○認知症対応型共同生活介護
グループホーム 潮岬あゆみ園

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬659
電話 0735 (62) 7122
FAX 0735 (69) 2270



○小規模多機能型居宅介護
ほっとハウスうわの園

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬659
電話 0735 (69) 2388
FAX 0735 (69) 2270



○住宅型有料老人ホーム
二色あゆみ園

〒649-3512 和歌山県東牟婁郡串本町二色143
電話 0735 (62) 5165
FAX 0735 (62) 5338



あゆみます、老いとのかの共生の道

ブログ更新中

ホームページもご覧ください。

<http://www.nishikien.ne.jp/>

発行：社会福祉法人 串本福祉会 企画広報部

「寄付御礼」

本法人にご寄付を頂いた方をご紹介させていただきます。お寄せいただきましたご寄付は本法人の活動に有効に活用させていただきます。皆様からのご厚志に深く感謝申し上げます。

(平成31年1月から令和2年3月分 順不同)

前地弘子様 (串本町) 三谷桂子様 (串本町)
中村幹枝様 (串本町) 山本 貞様 (串本町)
鈴木福子様 (串本町) (有)串本儀平様 (串本町)
元平茂昭様 (串本町) 山口サユリ様 (串本町)
潮崎廣子様 (串本町) 大野良治様 (串本町)
奥地美恵子様 (串本町) 種本鏡子様 (静岡県)
堀源一郎様 (串本町) 中松孝行様 (串本町)
栗山正嗣様 (串本町) 大野美喜男様 (串本町)
田中あい子様 (古座川町) 西畑典子様 (串本町)
和田忠司様 (串本町) 増井幹生様 (串本町)
濱地雅秀様 (串本町) 貝塚フサ子様 (串本町)
小島越子様 (串本町) 久保康夫様 (田辺市)
中尾 修様 (串本町) 谷口昇男様 (串本町)
健康相談御一同様 (串本町)
第一生命労働組合和歌山営業職支部様 (和歌山市)
株式会社ケーエスケー様 (大阪市)
株式会社小森組様 (串本町)
串本福祉会評議員御一同様 (串本町)

串本福祉会は子育てサポート企業ならびに女性活躍推進企業を目指します！

＜次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法＞

社会福祉法人串本福祉会行動計画

職員が仕事と子育てを含む家庭生活を両立させること、全職員に相互理解及び相互扶助の精神を浸透させること、それらをもって総合的な職場環境の向上及び更なるサービスの向上・安定へとつなげるため、並びに女性が活躍できる雇用環境の整備を行うために以下のとおり行動計画を定めます。

1. 計画期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日の3年間
2. 次世代育成について
 ＜目標＞ 年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施
 ＜対策＞ 年次有給休暇の取得状況を把握し、取得の低い職員へのヒアリングを行い、対策を実施する
3. 女性活躍について
 ＜目標＞ 責任者クラスへの女性労働者の登用
 ＜対策＞ 女性が活躍できる職場・風土の醸成を目的とした意識啓発を図る

令和2年3月27日策定

◆苦情等の受付に関して◆

本法人では、皆様からの苦情・ご意見にお応えするための体制を整備しております。お寄せいただいた苦情・ご意見に関して迅速に対応・解決することにより、より良いサービス・ビスの提供に努めます。

【苦情等受付】 0735-62-5165

【編集後記】

久しぶりのにしき園だより発行となりました。この間、様々な出来事がありましたがお伝えできずに申し訳ございません。本法人にとつて最近の一番大きなニュースといえ、特養本館の改築工事です。新しい建物は、広くて明るくて見晴らしもよく好評です。ご家族様や地域の皆様にもぜひご覧いただきたいのですが新型コロナウイルス対策のため、お披露目できるのは残念ながらまだ先になりそうです。面会が原則中止で家族様も不安な思いをされているのではないのでしょうか。事業所ごとにお手紙で近況をお伝えしておりますが、気になることがありましたら遠慮なくお問い合わせください。感染が拡がり続け終息のめどが立たず外出もままならない中、重苦しい雰囲気が世間を覆っています。串本福祉会では、ご利用者様の安全を第一に最善を尽くす所存です。発熱などの症状がある職員は自宅待機で様子観察するようにしており、4月13日現在まで感染者は出ておりません。以前のような自由に出かけられる安全で明るい社会が戻る日まで辛抱の日々が続きますが、皆様どうかお身体をお大事に、またお会いできる日までお元気で過ごしてください。(W)